

●サポーター会議⑧ 2014/11/29 グループワークまとめ

計画素案についての意見	
A グループ	よく整っているが、どうやって実現させるかが問題。あまりにも重点項目が多様な印象。当面何をやるのか、優先順位をつけてあげた方がよいのでは？書いてあることは何年先も大切なことばかり。また、火付け役は誰なの？協働の重要性は充分伝わってきている。⇒声がたくさんあがった人材・啓発の部分をまず最優先。計画に作る立場として、もらしたくないという思いから範囲が広がってしまいがち。
	P. 91 [重点5]より 区・自治会の組織10ヶ所とあるが、誰がリーダーシップを？⇒まずは行政・社協が主導で座談会から、まずは各区を含めた地域で動いてもらえるような下地を作っていく。座談会以外でもにしん体操やカフェなどをきっかけに集まる機会を。
	なぜ19区の中で10区？⇒10年で19区。5年で半分の10区として。現実的な観点で。
	各区長は把握している？⇒年度当初で説明は行った。
	ページがずれている。P30かな。P91がたくさんある。“再掲”があったりなかったり。
	CSW＝地域たすけあい相談員のはずだが、コラムでは“CSW”を紹介している。なんで？⇒地域たすけあい相談員で統一していく。
	家庭教育推進“委員会”？
	災害弱者への対策について、どこが（市・社協）、どの部分を担うのかははっきりしている？⇒作る段階で防災計画に限らず、各課とすり合わせをしている。
	“民生委員”が担う部分がとても多く感じる。以前より民生委員の守秘義務の観点から、協働が難しいということがある。すり合わせは大丈夫か⇒現時点で、災害時要援護者の把握や連絡窓口になってもらっている。そのフォローをいかに考えていくかが計画の肝。民生委員も不安が大きい。
	災害時要援護者制度はあくまで手挙げ方式。福祉計画でこういった制度にのってこない人をどう拾いあげていくのか、なんとかできないものか⇒区長がやる気にならんことには…だからこそ区の会議を10ではなく前区（19区）にして、区長に危機感をあおらせてほしい。
	この計画がすべてできればそれは素晴らしいこと。 他の市町村もそうだと思うが、実現に向かってチェック機能をきちんとしないとイケない。誰がいつ行うかまで具体的に“しあわせづくり委員会”をもっと明らかに。大事な部分が抽象的になってしまっている。
	何かしたいという市民に、参加しやすい、できる雰囲気・システムづくりをお願いしたい。
	1次計画のふれあい区構想。民生委員をサポートする“福祉委員会”の役割が重要になるのでは。民生では拾いきれない情報を委員がフォローする。
	P.1 8行目で「介護保険の費用があがってきたから…」という文言を見てしまうと、金があればこの計画は必要なし？と見ようによっては見えてしまう。これを書く必要はあるのか？⇒検討する。なくすかどうか。
	P.36で“ワンストップ”とあるが、解説が必要ではないか
	P.49等“地域たすけあい会議”⇒名称が気になる“討論して終わり”範囲はどうなのか？読んだ人はわからない可能性がある。P.57“住民座談会”。書き手と読み手で捉え方の差異がなるべく生じないように、パブリックコメントまでに修正がいるのではないか。
	もうすぐ来年度からこの計画が始まるが、この立派な計画が絵に描いたもちに終わってしまわないか？⇒お披露目はするのでぜひ関わってほしい。
P.55 キーパーソンの育成とある。今更育成なのか？地域のキーパーソンは区長であり、その方々の理解を深めることが表現として重要では⇒主に1年で変わる区長だけでなく、継続的に関わってもらう人もキーパーソンに含む。なので、育成と。	
地域福祉で長く活動されている方々が悩んでいる。“地域をまとめること、共に動くことができない”と、そういった部分をフォローするにはどうすればいいか、考えないとイケない。	
キーパーソンになる区長の選出方法がそもそも…しかしこの部分はさすがに手を出せないとこでもある…	

●サポーター会議⑧ 2014/11/29 グループワークまとめ

計画素案についての意見

p22 不登校・ひきこもりの問題について、文中には盛り込まれるように改善されたため、資源図にも、日進市教育支援センター（ハートフレンドにっしん）を載せる。後ろの小学校区別地図にも、載せる。

p32、p83 ふれあい区構想の図、今後の推進体制の図の関係性がわかりづらい。これからは、p83の方でよいの？

P39、p83 中間支援組織イメージ図、今後の推進体制の図の関係性もわかりづらい。p83の中の、どこにあたるのか？

p33 地域包括ケアシステムの概念は、高齢だけのものではない重要なもの。図などが入って、とてもよくなった。

p65 福祉系法人等の、障害のない人への支援は載せなくてよいのか。

p65 前回あった、中間的就労が消えてしまったように見える。

p70 コラム内、障害を持った人→障害のある人に直す。

p84 スキームという言葉は分かりにくいので、説明書きを載せたほうがよい。

p86 目標値は5年後だけでなく、毎年どこまで進んでいるか管理した方がよい。社会状況などにあわせ、その目標値でよいかどうか確認しつつ進められるとよい。

p87 目標値が入って、とてもよくなった。あとは実現して行けるかどうか。

p87 備考欄に、内訳や計算根拠を記入してほしい。

p87 CSWの配置について、5年後半分では不公平？目標なので、9地区にしてはどうか。

p93 委員等のところに、事務局・(株)都市造形研究所も載せたほうがよい。

コラムが増えて、とても読みやすくなった。

CSWについては、人選が大きな影響力を持つので、誰がなるのか、誰が決めるのか、が重要である。情報をにぎり、つなげ、困っている人をひっぱることが出来るような人でないと。

計画書を読んでもらえるかどうか。教育の場でも取り入れるとよい。

B
グループ